

おおさき 議会だより

ひろい箱



きれいな海を残そう(関連記事12ページ)

9月定例会

こんなこと決めました

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| ● 令和7年度補正予算…………… 2 | ● 議員と語る会の募集…………… 12 |
| ● 人事案件(選管委員) …… 4 | ● インタビュー(ピックアップおおさき) …… 13 |
| ● 町政を問う(一般質問) …… 6 | ● 町民の広場・編集後記…………… 14 |

今まで発行されていた紙の商品券が、デジタル化される予算。

今までの1万円が、ポイントとしてスマートフォンやカードで発行されることになります。

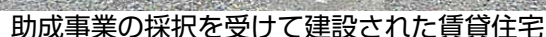
財源内訳

- 一般会計繰入金
1億3964万8千円
- ふるさと応援基金
8002万円

空き店舗を活用し、地域の活性化をはかる

この助成金を受けた事業所は、午前6時から午後12時までの間に連続3時間以上、1週間に4日以上、の営業が条件とされています。

当初予算200万では、4事業所が計画されています。さらに、補正予算では、すでに2事業所が申請されています。



町民の定住と町内への移住
促進をはかる

町内に賃貸住宅及び
立地企業が、従業員宿
舎を建設するための予
算です。

いずれも3000万円を限度として助成されています。

2,133万6千円

補正前 3000万円
補正後 5133万6千円
実績は4件で補正では1件の
助成が予定されています。

リフォームで空き家を活用

町内の空き家をリフォームして、人口の増加と、地域経済の活性化をはかるための予算で、リフォームにかかる費用の50%が助成されます。最高限度は200万円までとなります。

補正前までに14件の助成実績があります。

補正前 2000万円

補正後
2950万円

954万円

☆ クラウドファンディングで
ギャラリーを開店

空き店舗を改造し、町PR
大使天竺鼠てんじくねずみの川原さんが制作
された作品などを展示する店
舗をつくり、街のにぎわ
いをはかろうとする予
算。

ふるさと納税寄附金
15億1000万円のうち
クラウド分1000万円
を補助する予算です。

1,000万円

火山灰除去・薬剤散布 など機械導入

活動火山などの、降灰による作物の被害を防止、軽減するため、被覆施設や洗浄施設の整備を行い、農家の経営安定、地域農業の健全な発展をはかるための予算です。

この予算の50%が国、15%が県の補助で、野方生産組合が、採択され、ハイクリブーム機の導入を計画されています。



導入予定の DSA-2000C

1,187万7千円

家畜運搬車両 消毒場設置

家畜が法定伝染病に指定されている症状が見られた時、飼養している家畜を殺処分することが義務付けられています。主な伝染病は、口蹄疫、鳥インフルエンザ、BSE、豚熱など、町内への侵入、伝染を予防するために、農業公社の隣に、車両消毒場を建設する予算です。



消毒場設置予定地

2,400万円

8条植え乗用田植え機 導入

農業者が使用するスマート農業機械等を、レンタル・サブスクリプションなどの販売以外の手段によって、農業者に提供する取り組みや、農業者の行う農作業を代行するなどの、取り組みをすることを要件として国から50%が助成されます。



導入予定の8条田植え機 YR8DA

222万3千円

ふるさと納税地場産品 製造事業者を支援

町内で地場産品を製造、製品の付加価値を高めようとする企業店舗に、ふるさと納税制度の仕組みを活用したクラウドファンディングで調達した資金を補助金とする事業です。

対象補助事業は、

- ・都食品
- ・千歳うなぎ
- ・もんちゃん
- ・神楽坂50番

4企業の総目標額は合計6602万円で個々の目標達成額に応じ、50%～100%の範囲で補助されます。

6,602万円

※クラウドファンディングとは

「何かを実現したい」と計画を持った人や会社がインターネット上に計画を掲載して、不特定多数の人に寄付・購入・金融といった形で金銭的に支援をしてもらい、発案者はそれで得た金銭を使って計画を実現する。

人事案件

選挙管理委員会・同補充員決まる

大崎町選挙管理委員会及び同補充員に、次の方々が新しく選任されました。任期は令和7年10月29日から令和11年10月28日までの4年間です。

選挙管理委員会委員



(新任)

氏名 藤井 満氏
住所 大崎町持留
(67歳)



(新任)

氏名 上原 正一氏
住所 大崎町永吉
(73歳)



(新任)

氏名 肥後 修氏
住所 大崎町野方
(68歳)



(再任)

氏名 坂元千津子氏
住所 大崎町菱田
(74歳)

同補充員

(再任)

氏名 中倉 勇氏
住所 大崎町永吉
(77歳)

(新任)

氏名 原田 忍氏
住所 大崎町菱田
(70歳)

(新任)

氏名 領家 勇一氏
住所 大崎町菱田
(60歳)

(新任)

氏名 上村 雅彦氏
住所 大崎町益丸
(64歳)

選挙管理委員会

委員の役割

選挙管理委員会委員は、委員数が4人で、任期は4年となっています。選挙権を持っている人で、人格が高潔、政治及び選挙に公正な識見を持つ人のうちから、議会の議員による選挙で選ばれます。

選挙が公明かつ適正に行われるよう、あらゆる機会を通して選挙人（有権者）の政治常識の向上に努めることや、投票の方法、選挙違反など選挙について必要と認める事項を選挙人への周知をはかることなどの職務を行います。

あわせて、委員が万が一欠けた場合に備えて、委員と同数の補充員を同様に選ぶこととされています。

令和7年第3回定例会に提案された議案と結果

◎全会一致で可決されたもの

議案等の番号	件名	議決結果
報告3	請願書に対する処理の経過及び結果の報告について	—
議案34	土地の処分について	◎
議案35	町有財産（建物）の無償譲渡について	◎
議案36	大崎町議会議員及び大崎町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
議案37	大崎町特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	◎
議案38	令和7年度大崎町一般会計補正予算（第3号）	◎
議案39	令和7年度大崎町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	◎
議案40	令和7年度大崎町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	◎
議案41	令和7年度大崎町水道事業会計補正予算（第1号）	◎
議案42	令和7年度大崎町公共下水道事業会計補正予算（第1号）	◎
議案43	令和7年度オオサキポイント事業特別会計予算	◎
議案44	菱田中学校跡地残置物撤去等工事請負契約の締結について	◎
議案45	中央分団消防詰所新築工事請負契約の締結について	◎
議案46	大崎町立小中学校GIGAスクール構想第2期対応端末の購入契約の締結について	◎
議案47	大崎町総合体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
議案48	大崎町水道事業給水条例及び大崎町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について	◎
議案49	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	◎
陳情1	消費税率5%以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める陳情	不採択
陳情2	企業立地雇用促進補助金の対象業種から小売業等を除外することを求める陳情書	不採択
陳情3	町長の退職手当の廃止を求める陳情書	不採択
報告4	令和6年度大崎町健全化判断比率の報告について	—
報告5	令和6年度大崎町資金不足比率の報告について	—
諮問1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	◎
諮問2	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	◎
選挙7	大崎町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について	◎
発議1	大崎町議会議員定数条例の一部を改正する条例の提出について	◎

賛否が分かれた議案

採択することに、賛成○、反対●
※議長（吉原信雄）は表決に加わらない

議案等の番号	件名	賛否の意思表示											
		藤田香澄	草原正和	岡元修一	富重幸博	児玉孝徳	稲留光晴	神崎文男	宮本昭一	中山美幸	中倉広文	鷺東慎一	吉原信雄
陳情1	消費税率5%以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める陳情	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●	—
陳情2	企業立地雇用促進補助金の対象業種から小売業等を除外することを求める陳情書	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	—

一般質問

いな 稲 留 光 晴 議員

- ・本町の転入促進策について
- ・国保税について
- ・介護保険について



P 7

わし 鷺 東 慎 一 議員

- ・東町政6期24年の総括について
- ・6期目の公約の結果と達成度合い及び町長の認識について
- ・今後の町政に対する期待や取り組んでほしい政策、施策を示せ



P 8

こ 児 玉 孝 徳 議員

- ・児童生徒の学力向上について



P 9

3 議員が登壇

町政を問う

一般質問とは

町長などの執行機関に対し、業務の執行状況や将来の方針などについて議員個人として政策論争を行うものです。

二次元コード※をスマホ等で読み込むと各議員の一般質問を視聴できます。

※バーコードを拡張するために開発された二次元コードは、端末を使って簡単にコードを読み取ることができます。

問い合わせ先：大崎町議会事務局 TEL 099-476-1111（内線 310・311）

転入促進策で人口増加数は

令和5年度から77人の増である



いなどめ 稲留 みつはる 光晴 議員

問 転入者を増やしていく施策で住宅取得補助金があるが、人口増は何人か。

77人の増である

答 町長 令和5年度、6年度は旧制度の環境配慮型定住住宅取得補助金制度で、7年度からは新しい制度となり、現在まで2年6カ月合計で77人の人口増となっている。

定住住宅取得補助金の実績状況(令和7年9月10日現在)

年度	実績(件)	転入(件)	人口増加(人)	15歳未満(人) (人口増加数に含む)
令和5年度	33	13	40	18
令和6年度	35	8	22	7
令和7年度	15	5	15	5
計	83	26	77	30

引越し祝い金は令和7年度からいくらになるか

問 旧制度では町内転居が5万円、町外からは10万円であったが新制度ではどうなるか。

旧制度より増額した

答 企画政策課長 中古 住宅取得、または新築が条件であり、町内転居は25万円、町外からは50万円の祝い金となる。

国保税の過去3年間の納入状況はどうか

問 令和5年度から国保税算定方式が、4方式から3方式に移行となったが、現在までの保険税納入状況はどうか。

収入率は目標に届いていない状況である

答 町長 全体的に収入済額は減少傾向にあり、収入率は目標に届いていない状況である。

国民健康保険税 納入状況

年 度	調定額	収入済額	収入率	収入未済額
令和5年度	2億5,469万 2,000円	2億4,432万 9,876円	95.9%	1,029万 3,424円
令和6年度	2億3,101万 1,150円	2億1,959万 2,224円	95.0%	1,141万 8,926円
令和7年度 (8月末現在)	2億4,920万 8,360円	9,533万 6,286円	38.3%	1億5,387万 2,074円

※令和5年度の収入未済額は、不能欠損額を差し引いた額である。

介護保険持続97%危惧との報道記事への認識は

問 南日本新聞8月31日付けの記事で、全国自治体のアンケートを共同通信社が行った結果「介護保険持続97%危惧」とあるが、本町ではアンケートにどう答えたのか。

容易に回答すべきでないため控えた

答 町長 介護事業所の撤退も危惧されるが、すでに小規模多機能型の介護事業所が、昨年度閉鎖しており、公費保険料、利用者負担のいずれかの引き上げに関する質問については、容易に回答すべきではないと感じたため回答を控えた。

はつきりとアンケートに答えるべきではないか

問 84%の自治体の長が国の負担引き上げを求めている。はつきりと答えるべきではないか。

現時点では判断ができなかった

答 保健福祉課長 公費、保険料、利用者負担ということで、我々の税金に関係するので、現時点では判断ができなかった。

東町政6期24年の政策総括は

住民が住み続けたい まちづくりを軸に公約実現



議員 慎一 さん
東 しょう さん

主要政策の成果

- ・経済雇用 金型企業誘致地元企業支援で雇用促進

- ・教育子育て 小中学校の修繕、校舎改修、乳幼児から高校生まで医療費、給食費無償化

問 平成13年の当選以来、町長としての6期24年の政策総括を問う。

公約実現と環境変化への対応を両立

答 町長 「住民が住み続けたいまちづくり」を軸に公約実現と時代の変化への対応を両立、市町村合併では単独を選択し財政難の中、行財政改革とふるさと納税等による自主財源大で克服した。

- ・防災対策 避難所備品やLINEを活用した情報伝達体制整備、東日本大震災支援を通じた職員の防災意識向上
- ・インフラ整備 野方インターチェンジの新設、道の駅野方あらの整備
- ・リサイクル、SDGs 資源リサイクル率16回日本一、紙おむつ再資源化開始、SDGs推進協議会設立で企業、大学連携を強化

- ・ふるさと納税 平成27年度6万3千件（27億円）から令和6年度32万4千件（55億円）に拡大



2014年12月に整備された道の駅 野方あらの

6期目公約の達成状況は

問 6期目の公約の結果、達成度合いの認識及び課題等を問う。

おおむね達成できた

答 町長 4本の柱を掲げ、おおむね達成できた。

- ① 農業振興 ほ場整備・農業公社設立・有害鳥獣対策

- ② 教育環境 国際交流協定締結（台湾）、学力支援セミナー実施

- ③ 移住定住 空き家バンク・住宅補助制度で若年層誘致

- ④ 健康施策 ウォーキング大会・健康アプリ導入、課題として、生涯学習の施設の多様化不足、中央公民館の耐震性問題



整備が進められるほ場（益丸地区）

次の町長に期待することとは何か

問 次の町長・町政について期待することや引き継いでほしい施策や残された課題等を問う。

財政健全化の維持やデジタル化推進

答 町長 次期町長への要望として、財政健全化の維持・デジタル化推進など、意欲ある若者に託したい。

重点分野として、農業基盤整備・有機農業推進・リサイクル施策の国際発信・災害に強い財政基盤の維持など、24年間で財政自立・リサイクル先進自治体としての地位を確立した。次期町政では持続可能な農業・デジタル化や若年層参画がカギとなるのではないか。

子どもの学力向上と安全対策を

地域と共に取り組んでいる



こだま たかのり 議員
児玉 孝徳

域の協力も得ながら学力向上をはかっていく。

問 少子化で同学年が競い合う機会が限られると感じる。学力学習状況調査では県県の平均を下まわっているが、今後どのように取り組んでいくのか。

答 演習問題への取り組みやICTを活用していく

教育長 本町の子どもは、長い文章を読み込めず解答できない、記述式の正答率が低い状況である。演習問題の取り組み、ICT活用や家庭学習の取り組みを進め、地



ICT(情報通信技術)を活用した授業

子どもの安全対策を

問 最近の異常気象により気温が高く熱中症で倒れた話や、イノシシの被害など聞くが、本町の子どもの学校生活、通学や課外活動時などの安全は確保されているのか。

地域と連携し指導点検パトロールを行っている

答 教育長 PTAや地域と連携し、朝の立哨指導、通学路の点検、放課後の校外パトロール等を行っている。熱中症予防では指導者に研修会や通知文により対策など啓発している。

学校と地域の連携はできているのか

問 地域を生かした豊かな学びの創出により、子どもたちが地域への愛着を育み、将来を担う子どもたちを育成することが重要だが、連携はできているのか。

地域と共にある学校づくりを推進していく

答 教育長 学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進し、地域と共にある学校づくりを推進していく。



地域学校協働活動

幼保小中の教育は連携がとられているのか

問 保育園などの熱心な学力向上の取り組みで、小学入学時に格差が見られ、先生から苦慮していると聞く。また学校間の格差もあるのではと考えるがどうか。

幼児指導要録で能力を把握し指導している

答 教育長 小学校では、幼稚園、保育園との連携をはかり、子どもの実態把握に努めている。子どもを伸ばす取り組みをしている学校があれば、情報を共有し能力を伸ばしていく。

子どもの人間関係について問題はないか

問 子どもの人間関係において、いじめなどはないのか、またSNSでのトラブルはないのか。

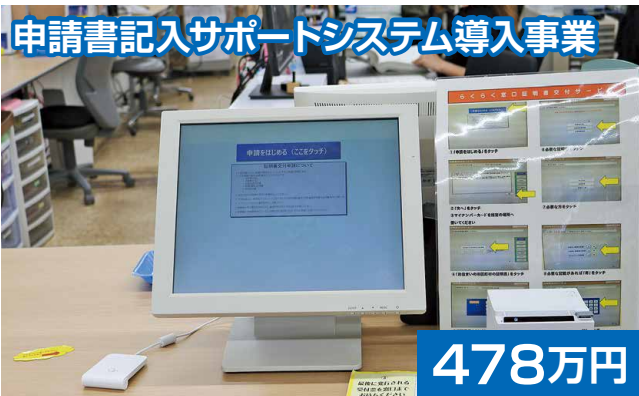
いじめはあるが些細なことも解決するようにしている

答 教育長 子どもは、インに気づく取り組みや、些細なことも解決するようにしている。またSNSの情報モラルの学習や講演会など行っている。

総務厚生常任委員会

7月2日(水)

閉会中の町内事務調査において、次の施設工事等の7件を調査しました。



この設備では、マイナンバーカード等の情報を活用して、申請書の作成支援を行っていますが、さらなる住民サービスの向上をはかるため、ワンストップ申請ができるような仕組みづくりを検討するよう要望しました。

住民サービスの利便性の向上をはかるため、庁舎1階の税務課及び町民課の窓口にはローカウンターを設置しているが、保健福祉課や建設課にも設置しないのかとの問いに対し、要望があれば検討していくという回答が得られました。



野方・持留・大丸・中沖分団詰所の4箇所にエアコンを設置したもので、今回、中沖分団詰所を調査しましたが、エアコンは入札の公平性をはかるため、メーカー型式指定で入札が行われていたことを確認しました。

令和6年8月8日に発生した日向灘沖地震により被災したもので、工事内容は敷地内の土間コンクリートの打ち直しや外周コンクリートブロック塀の補修、屋外給水管漏水修繕、外壁のひび割れ補修であり、現地において復旧状況を確認しました。



- ・旧明日葉加工場災害復旧修繕 (2,669万7千円)
- ・交通安全施設工事 (300万円)
- ・集草機付乗用芝刈機購入 (103万1千円)

文教経済常任委員会

7月11日(金)

閉会中の町内事務調査において、次の施設工事等の10件を調査しました。

永吉菱田線道路改良工事



3,000万円

道路側溝や大きな桝に歩行者が転落する可能性がある箇所が見受けられましたが、今年度中にガードパイプを設置予定とのことでした。今後は工事設計段階で十分検討し、安全対策を講じるよう要望しました。

工事内容は、L型水路やBOXカルバート敷設が主なものでした。このような排水路は集中豪雨などの水害に対して有効な対策であるため、今後も範囲を拡大して工事を進められるよう要望しました。

神領池尻2地区排水路工事



3,163万1千円

大崎中学校シャワー設備設置工事



237万6千円

中学校武道館の一室にシャワー設備を設置したものでしたが、奥行きが少し狭く感じられました。今後は既製品にとらわれず、利用者にとってどのようなものが適しているかを考慮し、設計・施工されるよう要望しました。

既存の床面を研磨し、その上に屋内スポーツ用塩ビシートを張り付けたものでした。今後、同様の工事がある場合は、シートの継ぎ目がコートを中心にこないよう配慮した施工をされるよう要望しました。

大丸小学校屋内運動場床修繕工事



1,856万8千円

- ・大崎小学校図書室他雨漏修繕(335万5千円)
- ・大崎中学校1・2年校舎屋上防水改修工事(1,877万8千円)
- ・大丸小学校特別教室等空調設備設置工事(1,622万5千円) ほか

共にまちづくりを 考えませんか



議員と語る会

意見交換を行う
グループを募集!

- ・開催日時 令和8年2月末日まで
- ・開催場所 申込書に記載された希望場所を基に、協議のうえ決定
- ・応募方法 右記の申込書に記入のうえ、官製ハガキの裏面へ貼り付けてご提出ください

スマートフォンなどで二次元コードを読み取り、入力フォームから申し込むことも可能です。



※今後、全町民を対象にした語る会も開催予定です。

議員と語る会申込書

グループの 住所・名称	住 所
	大崎町
	名 称
	代表者・電話番号
希望日時	第1希望日時 令和 年 月 日 () 時 分 ~
	第2希望日時 令和 年 月 日 () 時 分 ~
	希望会場
	参加予定 人数

切り取り線

海洋ごみ専用の収集所「B&G拾い箱」のお披露目式

10月19日(日)、コンテナ型のごみ収集所「拾い箱」のお披露目式が大丸地区農業構造改善センター駐車場で行われました。

この「拾い箱」は、海岸を訪れた誰もが漂着ごみを回収できる環境を整え、海洋環境保全活動の推進をはかる目的で設置されたもので、この

日は例年開催されている「くにの松原クリーン大作戦」に合わせて行われました。

「拾い箱」の側面には、大丸小学校児童50名のそれぞれがデザインしたイラストが描かれていますので、近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

ひろい箱





全国優良経営体表彰で農林水産大臣賞を受賞した(有)大崎農園の山下社長に聞きました



中倉議員

(有)大崎農園は設立して今年で何年目になりますか？

山下社長

2002年に法人化したので、今年で23年目になります。

中倉議員

現在生産している野菜の品目と作付面積は？

山下社長

メインで栽培しているのは青首大根で、このほかに葉ネギ、切り干し大根、サツマイモを生産しており、常に品質の向上と栽培の安定化をはかっています。

作付面積は大根が125ヘクタール、葉ネギが9ヘクタール、サツマイモが13ヘクタールとなっています。

中倉議員

従業員数は現在何名ですか？

山下社長

役員を含めると現在70名います。うち外国人は32名おり、フィリピン、インドネシア、ベトナムからの技能実習生が従事しています。

中倉議員

この度、25年度全国優良経営体表彰の経営改善部門で、最高賞である農林水産大臣賞を受賞されましたが、どのような点が評価されたのでしょうか？

山下社長

農作業などに関するデータの収集・検証を徹底的に行い、経営におけるPDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルを回し、精緻な生産管理体制を確立できたこと。また、気象データの活用や定期的な土壌診断に加え、農業機械のトラブル防止を徹底すること、契約販売先への安定供給を実現したことなどが、今回の受賞につながったのではないのでしょうか。

中倉議員

今後の目標をお聞かせください。

山下社長

産地間連携として、農繁期が重ならない北海道の農業法人と業務連携を進めたいと考えています。

今後も大崎農園のベースである大根やサツマイモの生産はしっかりと行い、お客様に選ばれる生産者であり続けたいと思っています。

また、常に情報収集に努めながら、チャンスがあれば何事にもチャレンジしていきたいですね。

◆山下社長、貴重なお話をありがとうございました。



出荷前の大根が積まれた冷蔵倉庫

私の想い

「移住から定住へ」



キャベツ農家
あきふみ
やまだ 山田 明史

都会の満員電車での通学に嫌気がさし「田舎で農業がしたい」という想いから、大学卒業後に埼玉県から鹿児島県に移住してきました。

町民の皆さんに助けていただきながら、大崎町でキャベツ農家として新規就農をし、8年が経ちました。様々な試行錯誤を重ねて、農家としての栽培技術が身に付いたように思います。3人の子ども

にも恵まれ、のどかな環境の中でのびのびと子どもを育てられています。

一方で、20〜30年先も農業を続けられるのかという不安もあります。私が就農した頃は大崎町のイメージどおり農業が盛んで、農地も取り合うような状況でしたが、今では高齢化や人手不足で耕作放棄地が実感として増えてきています。大産地としての魅力がなくなれば、農家が自信をもって農産物を作ることには難しくなると思います。

新規就農者を増やして町を活性化させると

いう観点では、農産物の販売先を斡旋したり優良な農地を優先的に貸し出すなどして、就農者が安心して栽培技術を磨けるような環境を作る必要があると思います。

国や町の金銭的な補助はありますが、実際に就農して感じたのは

販路や優良農地の確保の難しさです。縁もゆかりもない地域に移住してきて、地元の方々

の信頼を得るには時間がかかります。そうした問題点を大崎町としてサポート

していけば、農業で町を盛り上げてくれる移住者が増えるのではないのでしょうか。就農者が増えることに期待しながら、今後も妻と二人でキャベツの生産に励んでいきたいと思っています。



機械化された定植作業

編集後記

秋が深まり、朝晩の冷え込みを一層肌に感じる季節となりました。

9月議会では、本町が所有する町有地の活用や、みなさまの暮らしに関わる補正予算など、多くの議論がなされました。それぞれの議案に賛否両論ありましたが、さまざまな意見を出し合い、合意に導いていく過程は、議会の重要な役割の一つであると考えます。

これからも、お互いの意見を尊重した上で議員間の議論を十分尽くし、住民のみなさまにとって、より良い選択となるよう努めてまいります。
(中倉広文)

議会広報広聴常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 岡元 修一 |
| 副委員長 | 中倉 広文 |
| 委員 | 中山 美幸 |
| 委員 | 宮本 昭一 |
| 委員 | 神崎 文男 |
| 委員 | 稲留 光晴 |

発行責任者

大崎町議会議長 吉原 信雄